



感謝

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和3年9月15日 第7号 文責 梶原 圭一



正しく知って、「わ」たし(の命)を守る!



全国的に、目に見えない新型コロナウイルスとの戦いが続いています。9月10日現在、熊本県の感染状況も、国分科会ステージ4(県リスクレベル5厳戒警報)であり、非常に高い水準を維持しています。本県に出されていた「まん延防止等重点措置」も9月末まで延長され、学校における対策強化も求められています。

この状況を踏まえ、本校では、2学期の始業日にすべての学年で、新型コロナウイルス感染症に対する認識を深める授業を行いました。「新型コロナウイルスに感染することは、誰にでも起こりうること」という考え方を前提とし、自分事として捉えることができる授業となるよう、授業後の子どもたちの姿を以下のように想定しながら授業づくりを行いました。

【学習した後に「こうなって欲しい」と考えた子どもの姿】

- 新型コロナウイルスは、誰でも感染する可能性があることを改めて知り、積極的に予防する。
- 感染した人や周りの人に対して、「誰でもかかる可能性があり、感染した人は悪くない」「傷ついた人を温かい言葉で励まそう」と言える。

実際に県内で実践された先進的な取組を参考にし、本校の実態に応じた授業としました。低学年では、新型コロナウイルスから自分の身を守るための基本的な感染症対策に重点を置きました。なぜマスクを着けるのか、なぜ手洗いが必要なのかなど、一つ一つ子どもたちに考えさせ、日頃の自分たちの取組を振り返り、主体的に取り組むことができるよう意識付けを行いました。

中・高学年では、感染症が広がる仕組みを知ると同時に、報道されている感染者や医療従事者に対する偏見や差別の問題にも触れ、相手の立場に立ち、思いやりの心をもった言葉かけや行動の大切さについて、自分事として考えていきました。

「～らしい。」や「～と聞いた。」といった噂話ばかりに惑わされず、物事に対して正しい認識をもち、自分や大切な人たちの命を守るために毅然とした態度の取れる人へと成長できるよう、これからも教育活動を進めていきたいと思えます。保護者や地域の方々のご理解とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。

がくしゅうに一生懸命取り組む学校を目指して!

苓北町の小中学校では、本年度から「町内教職員学年部別研修会」という新たな取組が行われています。町内の小学校で横のつながりをつくとともに、小中で縦のつながりをつくりながら、連携をより強化していこうと計画されました。町内の小学校の同学年で授業を公開・参観したりすることで、苓北町の子どもたちの確かな学力の向上を目指しています。

それぞれの学年で、授業公開は年間2回ですが、本校ではすべての担任が授業を公開することを希望し、子どもたちの学びに向かう姿を見ていただいています。また、中学校の先生方からは、より専門的な意見をいただき、それぞれの教科の本質に迫る授業づくりができるよう学んでいます。

「ふるさと『㊦・㊧・㊨・㊩・㊪』小学校」の「がくしゅうに一生懸命取り組む学校」を目指し、子どもたちも力を高められるよう、今後も頑張っていきます。



さわやかなあいさつが響く学校

「ふるさと『㊦・㊧・㊨・㊩・㊪』小学校」の「さわやかなあいさつが響く学校」を目指した取組として、児童会の企画委員会の発案による「あいさつ運動」が行われました。委員会の児童が朝早く登校しなければならないことから、1週間の取組でしたが、これまで以上に校内が明るくなったようでした。

本校の子どもたちは、校内では気持ちのよいあいさつができ、来校された方から褒められることが多いのですが、地域では、なかなかあいさつができないというご指摘も受けています。

「いつでも」「どこでも」「誰にでも」さわやかなあいさつができる子どもの育成を目指し、学校でも繰り返し、粘り強く意識付けを図っていきます。また、家庭や地域の方々との連携を図りながら、あいさつの習慣化を図っていきたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



教育実習 頑張っています

9月2日(木)から9月29日(水)までの4週間、本校出身で大学3年生の さんが、2年生の教室で教育実習を行っています。授業の進め方や学級経営のあり方等を学ぶと同時に、子どもたちと鬼ごっこをしながらコミュニケーションを図ってくれています。これから国語や算数、道徳科などの授業も経験される予定です。

大学卒業後に教職に就かれ、共に仲間として働く日が来ることを楽しみにしています。



<お知らせ>

「まん延防止等重点措置」が9月30日(木)まで延長されたことを受け、登校後に校舎に入る前の児童の検温を継続します。なお、地域の方々への来校を控えていただいております。様々な会議等も延期しておりますこと、心からお詫び申し上げます。また、延期しておりました「親子PTA美化作業」についても、PTA会長並びに副会長と協議を重ねた結果、本年度については、中止することとなりました。予定を何度も変更することになり、大変ご迷惑をおかけしました。ご理解願います。

